



**サマーフェスタ
各会場で大盛況!**



(ビーチフェスタ:外日角・白尾海岸周辺, リバーフェスタ:夏栗橋周辺, 猫にゃんグランプリ:宇ノ気野球場)

**宇ノ気勤労青少年ホーム
改修など
3億2千216万円
の補正予算可決**

CONTENTS

平成23年 第2回 定例会	2
平成23年 第1,2回 臨時会	6
一般質問 (5人が登壇)	7
常任委員会レポート	12
メスキルヒ市訪問他	15

第7代議長に竹内幹雄氏 副議長に多々見武氏

7月1日の議会最終日、議会人事案件が提出され、
新たな議長に竹内幹雄議員 (59歳)
副議長に多々見武議員 (68歳) が選出された。



議長就任あいさつ

議長 竹内 幹雄

高松・当選3回・無所属

第7代議長に就任いたしました。
合併特例債を活用したまちづくりも8年目を迎え、公共施設建設をはじめとする各種の事業が山積しております。福祉・教育はもちろん、若い世代の方々の定住促進、子育て支援策、安全・安心なまちづくりなどを確実に進めていかなければなりません。議会としても、その権限を適切に発揮し、市民のみなさまの意見をしっかりと反映させながら更なるかほく市の発展に全力で取り組みます。また議会改革にもより一層、積極的に取り組んでいく所存でございます。
市民の皆様方には、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長就任あいさつ

副議長 多々見 武

高松・当選3回・無所属

第7代副議長の要職に就くこととなり、責任の重大さを痛感しています。
元より浅学非才の身ゆえ、歴代副議長が重視してきた融和の精神を大切に、議長の指導と助言を仰ぎながら名誉ある席を汚さずに、皆様の叱咤激励、ご鞭撻をいただきながら、円滑な議会運営と市政の発展向上を念頭に、誠心誠意、その職責を全うするよう最大の努力をいたします。
今後ともご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。

編集/かほく市議会広報特別委員会

発行/石川県かほく市議会
〒924-8511 石川県かほく市宇野気1-81番地

E-Mail: gikai@ty.kahoku.lshikawa.jp
☎076(283)7126 FAX076(283)7188

第30号から組織が再編され、新しいメンバーになりました。
委員自ら編集力向上を強化し、市民のみなさまに議会の活動状況をより分かりやすくお伝えすることにより、親しまれ、愛読されることを目標に委員一同努力し、取り組んでまいります。



金子 高橋 安達 多々見 猪村 坂井 正朝
成典 博 武 靖 次

編集後記

次の定例会は9月6日からです。
議会の傍聴してみませんか

本会議・常任委員会の傍聴ができます。
市政は身近なものです。どのような議論がされているのかぜひ傍聴においでください。
本会議は30名、常任委員会は8名の定員で受付順となります。

本会議はケーブルテレビ「かほくチャンネル」で生中継・録画を見ることができます。



市が運営する「かほくチャンネル」では、地域に密着した情報をたっぷり放送しています。



平成23年 第2回 定例会

会期 / 6月17日 ~ 7月1日

平成23年6月17日から15日間の会期で第2回定例会が行われ、平成23年度一般会計補正予算など7議案について審議し、原案のとおり可決した。

また人権擁護委員などの諮問案件2件についても原案のとおり適任とした。

宇ノ気勤労青少年ホーム改修 子育て支援の拠点として整備



23年度一般会計補正予算 (第1号)

公共施設の駐車場整備費計上

歳入歳出をそれぞれ3億2千216万円を増額するもの。(全員賛成)

歳入の主な内容

- 繰越金
- 前年度繰越金2千555万円を増額
- 諸収入
- キャラクターグッズ販売料15万円を増額
- 市債(借入金)
- 庁舎整備事業債9千130万円、七塚多目的公共施設整備事業債5千100万円、雪寒対策事業債590万円、道路橋りょう維持事業債2千50万円、道路新設改良事業債850万円、宇ノ気勤労青少年ホーム整備事業債3千230万円を増額
- 寄附金
- 学校教育費寄附金5万円を増額
- 緑入金
- 公共投資臨時基金緑入金800万円を増額
- 国庫支出金(国から)
- 社会資本整備総合交付金
- (土砂災害ハザードマップ・舗装改修・橋りょう補修・雪寒事業・スクールバス購入・新化館耐震補強)5千308万円、宇ノ気勤労青少年ホーム改修2千90万円、その他34万円を増額
- 県支出金(県から)
- 地域支え合い体制づくり事業補助金300万円、緊急雇用創出交付金108万円、その他49万円を増額
- 地域支え合い体制づくり事業補助金300万円、その他84万円を増額

歳出の主な内容

- 総務費
- 七塚多目的公共施設駐車場整備5千296万円、本庁舎駐車場整備9千484万円、その他77万円を増額
- 民生費
- 地域支え合い体制づくり事業補助300万円、その他84万円を増額
- 衛生費
- ごみ減量化推進事業33
- 土木費
- 橋りょう維持管理事業(谷橋、環衛橋、糺橋、公園橋)4千800万円、道路新設改良事業(大崎3号線外1路線舗装改修)2千
- 労働費
- 緊急雇用対策事業108万円を増額
- 商工費
- 観光振興対策事業103万円を増額
- 教育費
- スクールバス購入764万円、宇ノ気勤労青少年ホーム改修工事5千600万円、新化館耐震改修設計委託120万円、その他195万円を増額
- 消防費
- 危機対策事業(土砂災害ハザードマップ作成委託など)540万円、その他53万円を増額

特別会計

下水道事業特別会計補正予算 (第1号)

国庫交付金による南部浄化センター整備費を債務負担行為を設定することにより、1億8千200万円を減額するもの。(全員賛成)

条例改正

税法例の改正

地方税法の一部を改正する法律に伴うものであり、東日本大震災により住宅や家財などに生じた損失について、個人住民税で平成22年分の総所得金額などから雑損控除として控除できる特例など、東日本大震災で被災した方々に配慮した改正を行うもの。(全員賛成)

一般会計補正予算 (第2号)

市消防団高松第二分団の県消防操法大会への出場決定に伴い派遣費として、歳入歳出をそれぞれ200万円を増額するもの。(全員賛成)

同意

人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

坂野 俊紀氏(白尾)

その他

- 遠藤他代美氏(七窪)(以上2件、全員賛成)
- 指名競争入札
- 契約の方法
- 契約金額
- 2千725万8千円
- 契約の相手方
- 長野ポンプ株式会社
- (以上3件、全員賛成)

請願・陳情

【趣旨採択】

原発セロ計画をめざして原子力発電所の安全対策の抜本的強化の意見書提出を求める請願書

(賛成16、反対1)

【継続審査としたもの】

保険料の値上げに直結する国保広域化に慎重な対応を求める意見書を国に提出することを求める請願書

「子ども・子育て新システム」に基づく保育制度改革に反対する意見書提出を求める請願書



地域支え合い体制づくり事業(ライフクリエート)

決算特別委員会を設置

平成22年度の各会計の決算を審査するため、決算特別委員会を設置した。

委員長に

杉本 正一氏



副委員長に

遠田 順氏



今年度より、決算特別委員会では、市政にとって重要な事項である「決算議案」について、より詳しく専門的に審査するために、議長と議会監査委員を除く全議員が3つの分科会に分かれて審査することとした。

また、決算審査の結果を次年度に反映させるため、審査の時期を早め、9月議会で審査結果を公表することとし、行政側の資料を早期に提出するよう、市長に申し入れを行った。



市長への申し入れ

総務分科会

委員長 安達 肇
副委員長 金子 猛
委員 西田 正剛
多々見 武
高橋 成典

市民文教分科会

委員長 猪村 博靖
副委員長 遠田 順
委員 杉本 成一
荒井二喜雄
金田 正信
多々見邦次

産業建設分科会

委員長 宇野 順一
副委員長 坂井 正朝
委員 別宗 明敏
寺内 照雄
杉本 正一

議員定数検討特別委員会を設置

3名の議員より、「議員定数検討特別委員会」設置を求めの申し入れがあり、採決の結果、全議員による本委員会が設置されることとなった。



議長への申し入れ

申し入れの趣旨

三町の合併により誕生したかほく市においては、旧町時代の議員44名が在任特例により1年2か月議員として在籍した後、平成17年4月の市議会議員選挙で18名となり新たなスタートを切った。その後、平成21年4月には第二回の市議会議員選挙も18名の定数で行われて現在に至っている。その間、議会として議会活性化推進委員会を立ち上げ短期、中期、長期に分けて議会改革を進めてきた。

合併から8年目に入り議員の任期も残り2年を切った今、次回の平成25年4月予定の第三回市議会議員選挙後は、ちょうど合併特例期間最後の年であり、その後の財政を考えると議会としても今一度、議会のあり方について議員らがチエックをし、これからの議会活動に生かしていくことが大切であると考えられている。

そこで、新たに議員定数検討特別委員会を立ち上げ、全議員が参加をし、広く市民の声を聴く、かほく市の財政状況を踏まえ行政改革の一環としての検討。

今後の議会改革への取り組み。

他の地方自治体の動向など多岐に渡る検討課題を調査・審議するため、早期の特別委員会設置を求めるものである。

提出議員 沖津千万人
賛成議員 金田 正信
安達 肇
(賛成14、反対3)

意見書

原子力発電からの段階的脱却と再生可能エネルギーへの転換・促進を求める意見書

福島第一原子力発電所の事故は3か月を経過した今も収束の見通しが立っていない。事故以来、大量かつ高濃度の放射性物質の拡散によって、多くの人が住みなれた土地を離れ、見知らぬ土地での生活を余儀なくされている。汚染によって、農林業、漁業も大きな困難に直面し、未曾有の被害はあらゆる分野に及んでいる。

世界有数の地震国であり、世界一、二の津波国である我が国にとって、大地震と大津波からは逃れられない宿命にある。今回の巨大地震から学ぶべきことは、これまでの想定そのものの大幅な見直しである。

よって、かほく市議会は、福島第一原子力発電所の事故を教訓に、子孫にこのような不安と危険を残さないため、国においてエネルギー政策の抜本的転換を図り、期限を定めて原子力発電から脱却することを強く求める。

また、その期限に至るまで、このような事故を二度と起こさないため、原子力発電所の安全確保に十二分な措置を新たに取るよう、国に対し要望する。

提出議員 別宗 明敏
賛成議員 西田 正剛
竹内 幹雄

(賛成16、反対1)

決議

教育基本法・学習指導要領の目標を達成するため、最も適した教科書の採択に関する決議

平成18年の教育基本法改正では、新たに「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」ことが教育目標の一つとして示された。これを受けて改正された学校教育法では、義務教育の目標として、「我が国と郷土の現状と歴史について、正しい理解に導く」ことが規定され、これらの教育法規改正に基づき学習指導要領の改訂が行われ、教科書出版社は教科書の編纂を行った。

本年3月には、中学校教科書における検定結果が文部科学省より発表され、夏の教科書採択に向け、各教育委員会は準備に入ったところである。

文部科学省の教科用図書検定調査審議会は、教育委員会が装丁や見映えではなく、内容を考慮した綿密な調査研究を公正かつ適正に行い、各採択権者の権限と責任のもと、地域実情に最も適した教科書を採択していくことや、教育基本法の改正内容や学習指導要領の改訂を十分理解し、適切な教科書採択を行うよう求めている。

以上の点を踏まえ、公正かつ適切な教科書採択が行われるよう強く希望するものである。

提出議員 杉本 正一
賛成議員 西田 正剛
沖津千万人

(賛成14、反対3)

新庁舎 改修状況視察

建設を進めてきた新庁舎が完成に近づき、7月27日臨時議会閉会後に議員に公開されました。

担当者の案内で内部を見学した議員からはより機能的、かつ快適な仕上がりに賞賛の声があげられました。引き続き二次三次の工事が続きますが、一日も早い完成と市民サービスの向上を望むものです。



7/27 新庁舎内を視察

福祉巡回バス 議会にお披露目

運行中の福祉巡回バスに新しいバスが加わりました。青い車体に「にやんたる」のマークも鮮やかなかわいさ特徴です。車高を自由に調整することができ、高齢者や障がい者のみなさまにも優しいバスとなっています。

よりたくさんのおみなさまに乗っていただきたいと「にやんたるバス」も心待ちにしているようです。



7/27 福祉巡回バスのお披露目

平成23年 第1回臨時会

（会期4月28日）

平成23年4月28日に第1回臨時会が行われ、工事請負契約の締結についてなど6議案について審議し、原案のとおり可決・承認した。

その他

工事請負契約の締結につ

契約金額
1億9千425万円
契約の相手方
兼六・タタミ特定建設工
事共同企業体

契約の目的

（仮称）七塚中央保育園
建設工事（建築）

契約の方法

制限付き一般競争入札

契約金額

1億8千637万5千円

契約の相手方

表・トモ工特定建設工
事共同企業体

共同企業体

工事請負契約の締結につ

いて

契約の目的

（仮称）高松南部保育園
建設工事（建築）

契約の方法

制限付き一般競争入札



高橋成典議員

専決処分

平成22年度一般会計補正
予算（第8号）
東日本大震災へ職員を派
遣するための経費を計上し
たもの。

条例改正

国民健康保険条例の改
正
国民健康保険税の基礎課
税額に係る課税限度額を50
万円から51万円に、後期高
齢者支援金等課税額に係る
課税限度額を13万円から14
万円に、介護納付金課税額
に係る課税限度額を10万円
から12万円に引き上げるた
め、所要の改正をするもの。
（賛成15・反対1）

反対討論

久化するため、所要の改正
をするもの。
（全員賛成）

反対討論

この影響を受ける世帯は
約120世帯におよぶ。
とめどもなく増え続ける
国保税の負担増は市民生活
を直撃している。
これは到底容認できるも
のではない。

平成23年7月27日に第2回臨時会が行われ、工事請負契約の一部変更についての1議案を審議し、原案のとおり可決した。

平成23年 第2回臨時会

（会期7月27日）

工事請負契約の一部変更について

変更する契約
庁舎増改修工事（建築）
変更契約金額
4億3千285万2千円を
4億5千853万5千円に変更するもの。

契約の相手方
表・沢野特定建設工事共同企業体
（全員賛成）



一般質問

○ 原発からの撤退、原発
ゼロを国に求めること。
A 油野市長 現時点で原発
から撤退する判断材料もな
く、国が考えを示すのが先
である。
○ 志賀原発の運転再開は、
市民への説明なしでOKと
いうことにはならない。市
も北陸電力と安全協定を結
ぶ。

○ 原発からの撤退、原発
ゼロを国に求めること。
A 油野市長 現時点で原発
から撤退する判断材料もな
く、国が考えを示すのが先
である。
○ 志賀原発の運転再開は、
市民への説明なしでOKと
いうことにはならない。市
も北陸電力と安全協定を結
ぶ。

○ 北陸電力と県に対して
原発防災計画の具体化を求
め、ヨウ素剤を配備せよ。
A 市長 なによりも国の方
針の見直しが先決。ヨウ素
剤の配備は県が実施する。



地震・津波による被害（大槌町）

○ 地域FMへの放送割り
込みシステムを市でも実施
せよ。
A 松本市民部長 FMかほ
くと協定しており、避難所
情報など、市からの緊急情
報を放送する。

福島原発事故を受け、災害から住民を守る市政を まず国が原発防災指針の見直しを

一般質問

高松レストハウスの払い下げ要望を

払い下げを前提に協議をする

平成25年4月から能登有料道路が全線無料となる。看護大学インターもフル

インターとなり、上下線とも乗り降りが可能となった。有料道路が無料となれば交通量が増えることは確実である。

市北の玄関口である高松レストハウスを、県に払い下げの要望を出すよう強く望む。

無料化後の取り扱い方針が示されていないが、施設の払い下げを前提に、県と協議を進めていきたい。



多々見邦次議員



市の情報発信基地としての活用が期待される高松レストハウス

防災対策重点地域に参加する考えは、国の指針が先

東日本大震災で地震や津波で甚大な被害が出ている。また、EPZの拡大や北陸電力と志賀町・県で締結している原子力安全協定への参加は原子力防災指針などが見直され、原子力安全協定に関する条件などが現在と異なる物となったとき安全確保のため適切な対応を図りたい。

中でも福島原発事故の問題では、石川県も志賀原発があり、警戒区域・緊急時避難準備区域に指定されている30km圏内に、大海川周辺が入っている。

現在停止している志賀原発であるが、再稼働するには志賀町長がOKすると、県知事はGOサインを出す事になる。北陸電力と志賀町・県が結ぶ安全協定にか

ほく市も参加する考えはないのか。

市長 福島原発の事故の検証とともに、未だ国において原子力防災指針や防災基本計画の見直しがされていない中、避難区域設定などの判断材料が乏しく、現

段階では国が原発事故に対する新たな対策を示すのが先と考えている。

また、EPZの拡大や北陸電力と志賀町・県で締結している原子力安全協定への参加は原子力防災指針などが見直され、原子力安全協定に関する条件などが現在と異なる物となったとき安全確保のため適切な対応を図りたい。

EPZ

原発事故が起きたときに備えて、自治体などがあらかじめ住民の避難などの対策を決めておく地域のこと。

国の原子力防災指針では、原発から半径8〜10kmが基準になっている。

安否札の配布を

緊急時支援協定の締結を

配布を検討する

災害時、避難したことを知らせる安否札を配布してはどうか。

市長 実施内容や効果を含め、検討していく。



金沢市で配布予定の安否札

他自治体との緊急時支援協定の締結を進めよ。

市長 相互協定も重要だが、全国市長会や全国知事会が人的支援などの窓口となることから、より一層効果が高いと考える。

災害時の情報伝達は機能を十分に活用する

災害時の防災無線やケーブルテレビの活用方法は、

市長 当市の防災無線は県内自治体の中で最新設備となっており、この機能を十分に活用する。

防災教育の取り組みは 適正に実施している

児童生徒への防災教育の取り組みを進めよ。

市長 避難訓練を保育園では毎月1回実施し、小中学校では学期ごとに実施している。

自助の啓発は 避難訓練で認識を深める

災害発生時の自助による市民への啓発を促していくのか。

市長 防災行政無線を使った避難訓練の実施などにより、自助の重要性をより深く認識していただく。



自主防災組織による避難訓練（白尾区）

防災士資格取得への啓発と育成は。

油野市長 町会区長会連合会や各種団体に機会をとらえて啓発に努めている。

防災士資格取得に至る研修会を市独自でできないか。

松本市民部長 関係機関と協議して検討する。

一般質問

自主防災組織や防災士の育成・啓発に努める

地域防災力向上の取り組みについて

一般質問

教科書選定はどのように 採択環境を整え、公正かつ適正に行われる

24年度は教科書改正の年である。本年8月末までに採択されると聞くが、どのような過程を経て決ま

のか。調査員、選定委員はどんな基準で選出されるのか。「教科書展示会」で広く住民の意見を聞くという

が、どのように反映するのか。「採択地区協議会」(かほく市・津幡町・内灘町)での議事録及び採択理

由を公開されるのか。

遠田教育長 同一教科

書を採択するのが適当と考

えられる地域を県教委は採

択地区として指定、かほく

市は津幡、内灘と河北採択

地区協議会を設けている。

選定委員は採択要綱の

規定に基づき、教育委員会

関係者、学校教育関係者、

保護者代表及び学識経験者

で構成、調査員は教科に対

する専門知識を有する教員

の中から選定している。

教科書展示会は高松図

書館で開催しており、意見

箱を設置し、それをまとめ

採択答申に反映するための

資料とする。

採択協議会での公表は

外部からの働きかけに左右

されることなく、採択権者

の自らの権限と責任で採択

できるような環境を整える必

要があり、また、県教委は

各地域の公正かつ適正な実

施に支障を来さないように

することから、8月末に県

内の結果を公表する。会議

録や採択理由は9月以降に

公開される。



金田正信議員



教科書採択において住民の意見を聞くシステム「教科書展示会」

国旗・国歌の教育に

対する見解は

学校教育での指導な

ど、環境整備が大切

学習指導要領において

「国旗及び国歌の意義並び

にそれらを相互に尊重する

ことが国際的な儀礼である

ことを理解させ、それらを

尊重する態度を育てるよう

配慮すること」となってい

るが、市長は、国旗・国歌

に対してのよき見解を持っ

ているのか。

油野市長 国旗や国歌を

尊重することは、国と郷土

を愛する一国民として当然

必要とされる礼儀である。

だれもが自然に国旗や国

歌を敬つ態度を養つには、

若い人たちへの働きかけが

必要であり、学校教育を通

じた指導や国旗・国歌の大

切さを実感できる環境を整

えておくことが大切と考え

ている。

公共施設での節電効

果は

冷房設備で16%見込

む

行政は、率先して節電

に取り組む姿勢を示すこと

が必要であり、公共施設に

おいて「アクションプラン

2011」を行っているが

その効果の見込みは。

また、本庁舎・図書館・

保育園など新しく建設され

る公共施設の照明など省エ

ネ対策は。

板坂総務部長 公共施設

の冷房設備は、温度や湿度

など稼働基準の徹底順守、

稼働時間の短縮により約16

%の省エネ効果を見込んで

いる。

新しく建設される公共施

設の省エネ対策は、LED

照明の設置、断熱効果を高

める工法の採用など、積極

的に推進していく。

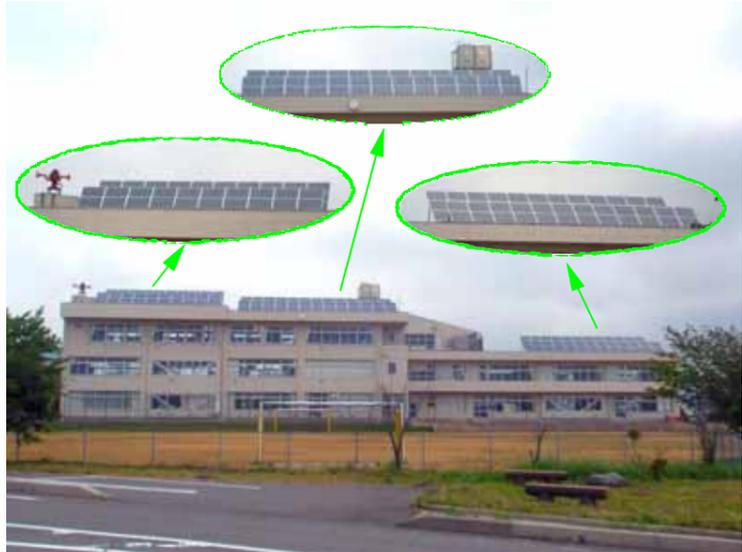
一般質問

脱原発への政策転換は必至の状況。市長の見解は 課題を国で検討すべき。現段階では判断材料がない

福島第一原発事故は、大量の放射性物質に汚染された地域の避難者が、二度とふるさとに住むことができなくなる悲惨な事故であり、脱原発への政策転換は必至の状況である。

私は、自然エネルギーへの転換を早急に図り、その進み具合と節電による効果を見計らいながら、原発を廃止していくという考えであるが、市長の見解は。

油野市長 脱原発という大きな問題に対しては、今回の事故の全容と検証結果の徹底究明による原子力発電の是非、代替エネルギーの普及スキームと発電コストなど様々な課題を国で検討してもらわなければならぬ。それらの検討結果を踏まえて判断することが必要であり、判断材料のない現段階において、見解を述べることはできない。



宝達志水町立樋川小学校の太陽光発電設備

太陽光発電の推進を法案が成立したなら、内容を見ただで検討

「全量固定価格買取制度」を定める「再生可能エ

ネルギー法案」は国会に

提出され、太陽光発電など

はビジネスとしても採算が

取れる見込みがある。

現在建設中の本庁舎やこ

れから建設する図書館、保

育園などに太陽光発電設備

を設置する考えはあるか。

また、既存の小中学校や

下水処理場などで設置の可

能性を検討し、可能な公共

施設に太陽光発電設備を設

置する考えはあるか。

市長 本庁舎については、

太陽光発電設備の設置を検

討したが、設置スペースの

問題や費用対効果などの観

点により設置しないことと

した。今後、建設に着手す

る中央図書館、統合保育園

においても、現在のところ

については、設置場所や敷

地の補強工事などの検討が

必要となる。技術革新によ

る軽量化、発電の低コスト

の進捗や、国・県の補助

なども考慮し検討する。

おもな質疑
(所管事項含む)

では、あとはハード面だけが残っている状況である。

沖津委員

合併支援道路である東西幹線の進捗状況は、根布都市建設課長

また、未買収の土地もあり、県はとりあえず市道23号線との交差点を重点的に施工したいとのことである。

県も国からの補助金を待つている状態である。

森田産業建設部長
市としては、合併特別期間の10年を目標として強力に推進してきた。事あるごとに国・県にも口をすっぱくして進めていただくよう強く要請している。

議員の皆さんにも引き続き協力願いたい。

遠田委員
河北縦断道路の進捗状況は。

都市建設課長
当市内は全土地買収済み

では、スプリング遊具2台を、中央公園では、シーソーを撤去する。

沖津委員

観光振興対策事業103万1千円の中に委託料、ストラップ78万8千円が計上されているが、製造業者は地元業者か。

澤野産業振興課長
1個当たり3000〜3500円での販売予定をしており、金額的に地元業者では難しいため、商標権を持つ(株)タカラトミーを通じて安価に製造できる会社を選定している。

公園遊具の安全性を考慮し、取替えの経費が計上されているが、どのような遊具を変えるのか具体的な説明を求め。

荒井委員
撤去するものとして、高松運動公園では、滑り台、



取替えが待たれる遊具

シーソー、スプリング遊具、森児童公園では滑り台を、宇野気児童公園ではチェーン遊具、つり玉遊具を、うのけ総合公園ではブランコ、回転遊具、スプリング遊具3台を、木津公園では木製ブランコを、しらゆり公園

沖津委員

では、スプリング遊具2台を、中央公園では、シーソーを撤去する。

そしてこれらを、より運動機能の高い遊具に入れ替えを行うものである。

金子副委員長
公園に設置してある遊具の今までの管理体制は、都市建設課長補佐

中央公園など都市公園は毎年業者に委託しており、そのほかの公園は2年に1回、業者委託で点検している。別途、管理公社にも公園全体を見回っていただいており、傷んだ所があれば随時修繕している。

沖津委員
一般質問答弁で自然エネルギーを利用した公共施設は国の方針を見ながら、将来的に考えると市長の答弁があったが、天災時に何らかの形で自然の力を借りて電気を起こすということを検討していくのか。

産業建設部長
現在、全施設に自家発電装置を設置してあるが、電力エネルギーの有効な確保という意味で自然エネルギー

産業建設常任委員会
委員長 猪村 博靖
副委員長 金子 猛
委員 杉本 成一
沖津 千万人
荒井 三喜雄
遠田 順

メスキルヒ市制750周年記念式典に杉本成一議員・宇野順一議員が出席

平成23年7月15日に行われた、メスキルヒ750周年記念式典に、市議会から、杉本成一議員と宇野順一議員が出席し、友好を深めました。その報告をいたします。

杉本成一議員

ツヴィック市長はじめ、以前お会いした方々と再会でき、感慨深く26年間継続している姉妹都市交流の大切さを感じました。皆さま方にも是非メスキルヒを訪ねていただき、文化・風習の違いなどを体験していただきたいと思います。

街で出会う人々から、「こんにちは」の日本語で握手を求められ、かほく市がよく知られていることも実感しました。

地ビール工場や、取り組みを始めたばかりの民間でのパイオ・ガス発電施設などを視察、メスキルヒ市民の環境意識の高さを感じるとともに、各家での太陽光発電の普及が進んでいることも目のあたりにしました。

東日本大震災、原発事故とも、かほく市は影響のないことも説明、理解もいただき、約8千人の市民からの義援金約130万円を油野市長としっかり受け取り、まさに感謝、感動の訪問でした。

宇野順一議員

式典に参加する機会を与えて頂いたことに対し、心から感謝します。

参加を要請された時、脳裏に浮かんだのは、「言葉が分からないが大丈夫か」ということでありました。念のため、簡単なドイツ語会話の本を購入し、言葉を覚えていきましたが、式典会場に着くと、メスキルヒ市民の多くの方々が声を掛けられ、皆に笑顔で握手も求められ、大歓迎されました。永い間の交流がなせるわざと強く感じたところでありました。

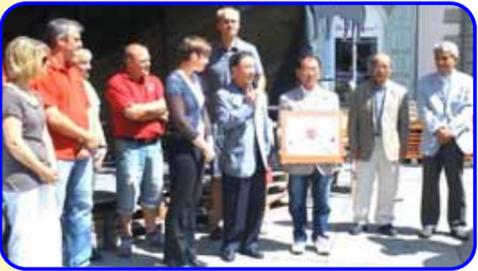
全く言葉の障害もなく楽しいひと時も過ぎ、せまじい毎朝、広大な畑地の中を散歩していると、会う市民の方々が「グーテン ターク」(こんにちは)と挨拶され、感激しました。

今後も永く両市の交流が続くことを切望することにも、将来を担う子ども達の相互交流の機会を与えることとは誠に素晴らしい事業と再認識した次第であります。

7月15日
メスキルヒ市庁訪問



7月15日
メスキルヒ市庁訪問



7月16日
市祭にて義援金受け取り

沖縄県中部地区町村議会議長会が議会運営委員会を視察

5月12日、標記の議長会(嘉手納町・西原町・北谷町・北中城村・中城村・読谷村)の一行11名が当議会の議会活性化の取り組み及び特産品のブランド化について学ぶため来庁しました。

当市の一般質問における一問一答方式やケーブルテレビによる議会中継などに関心を示されました。

なお説明の後、活発な意見交換が行われ、当議会としても、他町村の議会運営を知ることができ、有意義な機会となりました。

高橋成典議員に全国永年勤続表彰

高橋議員にその功績に対し、全国市議会議長会より表彰状が贈られ、6月17日の本会議の席上、伝達が行われました。

